

第10回 福島県糖尿病看護研究会 プログラム

日時：平成26年9月7日(日)
9:30~17:15

会場：ビックパレットふくしま
1階 コンベンションホールA

〒963-0115

福島県郡山市南二丁目52番地
TEL：024-947-8010

【緊急連絡先・研修会問合せ先】
日本イーライリリー株式会社
糖尿病・成長ホルモン事業本部
北日本支店 中村 真人
TEL：022-712-8060
FAX：022-712-8065
E-mail:nakamura_masato@lilly.com



福島県糖尿病看護研究会会則
第1章 総則

第1条 本会は、福島県糖尿病看護研究会と称する。
第2条 本会の事務局を下記におく。
財団法人大原綜合病院 内科病棟
〒960-8611 福島市大町6-11
第2章 目的

第3条
1. 福島県の糖尿病看護に携わる医療従事者を中心として糖尿病看護全般の研究をおこなう
2. 会員相互の教育と情報交換を行うことにより専門看護領域としての糖尿病看護の向上発展を図ることを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
1. 研究会の開催
2. 本会の目的達成に必要な事業
3. その他の事業

第3章 会員

第5条 本会の会員は、糖尿病教育・看護に携わるものとする
第6条 本会への入会は「入会意思」を示し、入会申請をした者に認める

第4章 役員及び運営

第7条 本会に次の役員をおく。
代表世話人 1名
世話人 若干名
監事 2名

第8条 世話人会は、代表世話人、世話人、監事で構成する。
第9条 代表世話人は、世話人会において選出する。
第10条 世話人会は、本会の企画運営にあたる。
第11条 代表世話人の任期は5年とし、再選は妨げない。
第12条 世話人の任期は2年とし、再選は妨げない。
第13条 研究会は、世話人会が運営にあたる。
第14条 研究会は原則として年1回開催する。
ただし世話人が必要と認めたものについては、開催可能とする。
また、研究会時に前年度の活動報告ならびに会計報告を行う。

第5章 会計

第15条 本会の会計は事務局におく。
第16条 本会の運営及び事業に必要な経費は会費、寄附金、その他の収入をもってこれにあてる。
第17条 本会の会計年度は、1月1日より12月31日とする。

第6章 付則

1. 本会の会費は、会員：研究会参加費1000円、年会費1000円とし非会員の場合は参加費2000円とする。
2. 本会会則の変更は世話人会の議決による。
3. 本会会則は平成17年1月1日から施行する。

本研修会は、日本糖尿病教育・看護学会により糖尿病療養指導士更新単位<第1群>看護の研修4単位を申請中です。

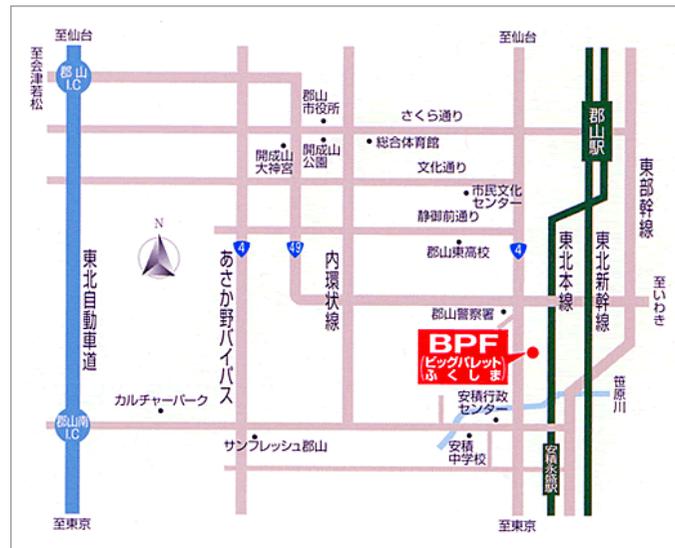
日糖教看学-共催 第〇〇-〇〇〇号

また、本研修会は「日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会」として<第2群>(糖尿病療養指導研修単位)2単位を申請中です。

注)看護職の方は以上の申請のうちどちらかの一方の選択になります。他の職種の方は2群のみの申請になります。

また、福島県糖尿病療養指導士認定2単位を申請中です。

会場までのアクセス



共催： 福島県糖尿病看護研究会
日本糖尿病教育・看護学会
福島県糖尿病療養指導士会
日本イーライリリー株式会社

◆
ビックパレットふくしま
1F コンベンションホール A
◆

9:30～9:50

開会の辞

総会・会計報告

済生会川俣病院 看護師 市川 より子

日本糖尿病教育・看護学会報告

うめつLS内科クリニック 看護師
梅津 奈津恵

9:50～

本会開始

総会司会 白河厚生病院 看護師 坂本 紅美子

9:50～11:00 クリニカルトーキング 第一部

座長 会津医療センター 看護師 猪俣 利恵

1-1 当院のフットケア外来の現状と今後の課題

寿泉堂綜合病院 看護師 加藤 悦子

1-2 独居高齢者で認知症のある糖尿病患者への訪問看護師の関わり

～HbA1cの改善が得られた一例～

済生会福島綜合病院 看護師 高木 亜希

1-3 検査科の糖尿病療養チームとしての取り組み -CGMの解析-

大原綜合病院 検査技師 斎藤 沙織

1-4 当病棟における糖尿病教育入院の看護師の役割について

～指導者の不安軽減と指導内容の統一～

竹田綜合病院 看護師 安部 啓子

11:00～11:05 休憩

11:05～12:20 クリニカルトーキング 第二部

座長 公立藤田綜合病院 看護師 小田 真由美

2-1 当院での「変性意識で潜在意識に働きかける心理療法」の効果
～震災トラウマ編～

さいとう内科クリニック 看護師 有馬 春美

2-2 当院での「変性意識で潜在意識に働きかける心理療法」の効果
～負のスパイラル編～

さいとう内科クリニック 看護師 志賀 佳緒理

2-3 地域医療を支える被災病院の役割

～在宅糖尿病患者支援～

大町病院 看護師 藤原 珠世

2-4 血糖コントロールにヘリコバクターピロリの除菌が

有効であった症例

相馬中央病院 検査技師 斎藤 由枝

12:20～13:20 昼休憩

13:20～16:00 グループワーク

テーマ：インスリンエラー

司会 竹田綜合病院 看護師 山崎 和恵

13:20～14:10

事例① 認知症による記憶力低下のためインスリン療法が
困難な患者

14:10～15:00

事例② 看護師の知識不足により起きたインスリンエラー

提示 星綜合病院 看護師 椎根 寿子

15:00～16:00

事例③ 患者への説明・受け止め方の確認の不備による
インスリンエラー

提示 会津医療センター 看護師 猪俣 利恵

【グループワークファシリテーター】※50音順

市川 より子 (済生会川俣病院 看護師)
猪俣 利恵 (会津医療センター 看護師)
梅津 奈津恵 (うめつLS内科クリニック 看護師)
小田 真由美 (公立藤田綜合病院 看護師)
木戸 仁美 (公立岩瀨病院 看護師)
河野 聡子 (福島県立医科大学 看護師)
西郷 和枝 (会津中央病院 看護師)
坂本 紅美子 (白河厚生病院 看護師)
椎根 寿子 (星綜合病院 看護師)
鈴木 幸枝 (いわき市立総合磐城共立 看護師)
関口 明美 (大原医療センター 看護師)
羽賀 貴子 (寿泉堂綜合病院 看護師)
山崎 和恵 (竹田綜合病院 看護師)

16:00～17:00

【特別講演】

座長 会津中央病院 看護師 西郷 和枝

演題

「糖尿病看護におけるリスクマネジメント
～インスリンエラー～」

演者 日本看護協会 看護研修学校

看護師 森 小律恵 先生

17:00～17:15

閉会の辞

公立岩瀨病院 看護師 木戸 仁美